

事業種別	県域安全事業
団体名	特定非営利活動法人 京都DARC
事業名	農作業による就労支援（社会参加・社会復帰）事業の継続
<p>京都DARCでは薬物を止めたいと願う薬物依存症者の回復（社会の中で薬物を止め続けること。自立した生活を続けること。）の手助けをすることを第一の目的として、当事者が当事者を支援するという「セルフヘルプ」の理念を大切にしながら、回復のための様々な環境作りを目指し、薬物依存症者及び、その家族に対しての相談も含め、包括的に回復及び、社会復帰を支援する事業並びに、地域に根差した薬物依存症に関する啓発事業を目的としています。今年度の農作業として27年4月から28年2月に掛けて計39回、のべ183名の事業の実施を行うことが出来ました。農業療法として自然に触れること、野菜や花を育てる難しさや失敗から学び、土作りから始め、畝作り、種まき、苗植え、間引き、剪定、追肥、収穫までの過程を利用者が中心となり行うことで、みんなと一緒に努力すれば出来るという連帯感、自己肯定感を育むことが出来ました。</p> <p>初めの頃は「野菜なんてお店で買った方が美味しいし楽やのに。」って言っていた利用者が芽が出たり、花が咲いたりして行く中で、笑顔が増え次の作業を楽しみにして行く姿を共有することが出来ました。農作業、園芸作業を経験することで、地域のボランティア参加や社会復帰のための足掛かりとしての動機付けになり、実際4名が介護ヘルパー、接客業などのアルバイトに就くことが出来、1名が以前の職に復帰することが出来ました。</p>	
	

注) 上記の報告書は、助成対象団体が作成した報告書です。(公財)日工組社会安全財団では、記載された事業の内容等に関するお問合せには対応できませんのでご了承ください。